

平成22年度

事業報告書

自 平成22年 4月 1日

至 平成22年11月30日

公益財団法人神奈川県労働福祉協会

# 目 次

はじめに-----	1
<事業活動報告>	
I 労働者の就労支援 -----	3
1 日雇労働者等に対する無料の職業紹介事業 -----	3
2 日雇労働者等に対する技能講習事業 -----	4
3 ホームレス等に対する就業支援事業 -----	4
4 中高年齢者及び女性に対する就労支援事業 -----	5
II 労働関係情報の提供 -----	5
1 労働情報コーナーの運営 -----	5
2 かながわ情報広場の運営 -----	5
2 労働情報総合ポータルサイトの運用 -----	5
III 勤労家庭への保育環境提供 -----	6
IV 勤労者の活動・交流等の場の提供 -----	9
1 神奈川県立かながわ労働プラザの管理運営事業 -----	9
2 川崎市生活文化会館(てくのかわさき)の管理運営事業 -----	10
V 公益法人制度改革の取り組み-----	11
○ 資 料 -----	12

## は じ め に

いわゆるリーマンショック後、落ち込んだ景気はいったん回復傾向に入ったものの、急速に進んだ円高や、いまだ脱却できないデフレの影響等で先行き不透明感が強まっております。

特に雇用面でみると、平成 22 年 12 月 1 日現在の今春卒業予定大学生の就職内定率は 68.8%と過去最悪の状況になるなど、雇用不安が引続き根強く残っております。

こうした中で、当協会の行う労働福祉や就労支援のための事業はますます重要となっております。

一方、当協会がこうした事業を安定的にかつ継続していくためには、経営の健全化や将来にわたる財源確保等財政基盤の確立が喫緊の課題となっております。

このような状況を踏まえつつ、平成 22 年度は労働福祉施設や児童福祉施設の適切な運営、日雇労働者等への就業支援、労働にかかる図書・資料等の提供等各種事業や、公益財団法人への移行申請や公益財団法人移行後の体制づくりに積極的に取り組んだところであります。

### I 労働者の就労支援

#### <日雇労働者等への効果的な就業支援>

日雇労働者やホームレスの常用雇用の推進、住居喪失不安定就労者への就業を支援する事業に積極的に取り組むとともに、中高年齢者や女性を対象に、自治体等と連携した研修事業を展開いたしました。

### II 労働関係情報の提供

#### <労働情報機能の強化・充実>

労働に関する図書・資料等の提供に加えて、新聞資料を分野毎に整理・配架し、また、労働関係情報をインターネット上で検索できるポータルサイトの運用を継続し、その充実に努めました。

更に、かながわ労働プラザ 1 階の交流広場を「かながわ情報広場」として、国・県等の労働関係情報を一元的に収集・配架し、労働情報の発信の拠点性を高めました。

### III 勤労家庭への保育環境の提供

#### <労働者の就労を支援する保育サービス>

東門前保育園において、定員を上回る児童の受入れ待機児童の解消に取り組み、ことぶき保育園ではプールや園庭開放等地域貢献事業に積極的に取り組みました。

また、本年 4 月、川崎市から指定管理者の指定を受けた「川崎市大師保育園」においては、産休明け保育など特徴ある事業に取り組むとともに、地域貢献事業にも積極的に取り組みました。

#### IV 勤労者の活動・交流等の場の提供

##### <多様な労働福祉サービス機能をいかした労働福祉施設の運営>

神奈川県及び川崎市から指定管理者の指定を受けた神奈川県立かながわ労働プラザ及び川崎市生活文化会館において、労働者や県民、市民への活動・交流の場の提供や文化教養等の講座の開催を実施いたしました。

#### V 公益法人制度改革の取り組み

##### <公益法人制度改革への適切な対応>

公益財団法人に移行するため、その運営体制の確立に取り組むとともに、平成22年4月15日神奈川県知事に移行認定の申請を行い、平成22年11月19日移行認定の通知が交付されました。

## <事業活動報告>

### I 労働者の就労支援

#### <日雇労働者等への効果的な就業支援>

#### 1 日雇労働者等に対する無料の職業紹介事業

寿労働センター無料職業紹介所において、横浜市中区寿町及び周辺地区の日雇労働者を対象に、無料で日雇、有期及び常用雇用の職業紹介事業を実施するとともに、求人開拓や事業所登録の推進、求人・求職相談行いました。

##### ア 求職者の年齢構成

平成 22 年 10 月現在の求職者年齢構成では、全体に占める 50 歳台の割合が 39.4%と前年より 10%減少しているものの、60 歳以上が 8%増の 39.4%になるなど高年齢化が進んでおります。

また、ミドル層といわれる 30 歳から 49 歳までの求職者数が、対前年比 2.4%増と増加傾向にあります。

##### イ 職業紹介業務取扱状況

長引く不況による求人の減少を食い止めるべく、新たな業種への求人開拓を強化したにも拘らず、日雇求人延数で 4,600 人と対前年度同期比で 327 人の減となりました。

また、同様に有期求人にも不況が継続して波及していることから、延数で 10,121 人と対前年同期比 280 人減となりました。

しかし、紹介就労数では有期求人での充足率が上がったため、日雇、有期の紹介就労数の合計は、13,788 人で対前年同期比 573 人の増となっています。

なお、常用求人に関しては、確保した求人に対して求職者が極端に少ないことから、求人と求職のマッチングについて検討し、同じ職種への求人開拓を控えた結果、求人数は対前年同期比 176 人の減となりました。

また、常用求人への紹介、就職数については、求職者の希望する職種によってハローワークの求人情報提供や求職指導等を行った結果、当所での紹介数は対前年同期比 18 人の減となり、就職数も 10 人の減となりました。

##### ウ 事業所登録状況

求職者の雇用を確保するため、引き続き神奈川労働局や県内の公共職業安定所等と連携を図るとともに、求人に関するあらゆる情報源から蓄積したデータベースを活用し、建設土木関連の業種に関わらず日雇派遣やパート労働者を必要としている港湾関連の事業所や製造、運輸、産業廃棄物、福祉関連など様々な業種の事業所へも登録勧奨を行いました。

しかしながら、景気の低迷が続く中、新規登録事業所数は 11 月末時点で 22 社にとどまり、対前年同期比では 12 社の減となりました。

なお、登録抹消事業所数は、昨年同期では 52 社でありましたが、今年度 11 月末時点で 22 社となっています。

## エ 求人開拓の実施状況

未登録事業所への新規登録勧奨による新たな求人の確保に力を入れるため、特別求人開拓月間を従来の9月から11月を前倒しして、5月から7月に実施するとともに、既登録事業所の中で、求人の見込みがあると思われる事業所に対してピンポイントの訪問、電話等による求人の掘り起こしに努めたことにより、11月末の訪問登録勧奨件数は1,380件で対前年同期比532件の増加となりました。

一方、既登録事業所への利用勧奨については、11月に予定していた文書発送を新法人への移行に合わせて12月としたため、訪問、電話、文書の合計で対前年同期比508件の減となりました。

## オ 相談業務取扱状況

相談業務の取扱状況については、求人者側と求職者側にも継続雇用について要請や指導を行いました。労働者からの相談のうち職業の相談では、求人情報の提供や職業相談は増えたものの、職業相談全体では対前年同期比1,350件の減少となりました。

その他の相談についても生活・健康相談は増えたものの、合計では対前年同期比516件の減少となりました。

また、事業所からの相談でも対前年同期比で92件の減となりました。

## 2 日雇労働者等に対する技能講習事業

厚生労働省からの委託を受け日雇労働者、ホームレス、住居喪失不安定就労者に対し、無料で技能労働者として必要な技能を修得するための技能講習を実施しました。

実施機関を指定した特設講習では、前年同期比で6科目増となる36科目を実施したものの、受講人員では20人ほど減少しました。

また、常設の講習では、通所と宿泊合わせて前年度同期比で1科目8人減少しました。

なお、ビルクリーニングと警備業初任者講習終了時に関連企業による合同面接会を2回(9月、ビルクリーニング参加企業4社)(10月、警備業参加企業3社)実施し、ビルクリーニング受講者5人、警備業初任者講習受講者2人が就職しました。

## 3 ホームレス等に対する就業支援事業

神奈川県ホームレス就業支援協議会からの委託を受け、ホームレス自立支援施設入所者と住居喪失不安定就労者の就業支援を行うため、寿労働センターの横浜相談室、川崎相談室及びかながわ住居喪失不安定就労者サポートセンター(かながわチャレンジネット)相談室において就業支援相談を実施しました。

ホームレスの就業支援では、横浜と川崎を合わせて相談件数が1,927件で対前年同期比263件の減となり、就業者数は対前年同期比30人減の122人でありました。

一方、かながわチャレンジネット相談室では、就労や生活・住居等の相談が中心となるケースが多く、就業者数は11月末時点で対前年同期比3件増の5件となりました。

#### 4 中高年齢者及び女性に対する就労支援事業

就業能力の向上、雇用の促進を図るため、中高年齢者を対象に就業支援セミナーを、女性を対象に就職応援セミナーを開催しました。

「中高年齢者就業支援セミナー」では、パソコン講座を2回、退職後のライフプランセミナーを1回、計3回開催しました。

「女性のための就職応援セミナー」では、前年に引続き母子家庭等の自立支援をテーマに2回、新たに「始めの一步は資格取得から」をテーマに1回、計3回開催しました。

特に女性就業支援の実施については、例年と同様に県立かながわ女性センターを始め、各市並びに各市の男女共同参画センターとの共催事業として開催しました。

## II 労働関係情報の提供

### <労働情報機能の強化・充実>

#### 1 かながわ労働プラザ労働情報コーナーの運営

労働に関する図書・資料等を収集し、労働をめぐる様々な情報を提供するほか、図書資料の検索などに応えるレファレンスサービスを行いました。

また、22年度には社会的な話題等に関するタイムリーな情報を提供できる特集コーナーの設置や、新聞切抜き等による分野別の関係記事を、クリッピング掲示やスクラップブックにより見やすいように整理しました。

なお、平成22年度入館者数は13,022人であり、対前年度同期比1,952人の増加となりました。

#### 2 かながわ情報広場の運営

新たな情報を提供できるよう、インターネットや電話にて積極的な情報収集を行うとともに、引き続き、国・県・市町村及び労働関係団体に係るパンフレット・ポスター等の労働関係情報を提供しました。

さらに、近隣の施設だけでなく範囲を広げた地域情報、周辺の類似団体の文化・観光施設資料を配架いたしました。

また、ワンストップサービスの取組みの一環として、電子掲示板やチラシにより、労働プラザ内県機関・団体の業務内容等の情報提供を行い、利用者サービスに努めました。

#### 3 労働情報総合ポータルサイト（労働情報総合センター）の運営

気軽に様々な労働情報を調べられる労働情報の総合的な窓口としての労働情報ポータルサイトで、県内の労働に関する人材・施設・事業等の情報を提供したところ、約4,100件のアクセスがありました。

なお、就職情報など最新の情報を提供するため、「jobL かわさき」や「かわさき若者サポーステーション」など、新規リンク先の開発にも取り組みました。

### Ⅲ 勤労家庭への保育環境提供 ＜労働者の就労を支援する保育サービス＞

#### 1 ことぶき保育園の運営

中国、フィリピン、タイなど、外国籍の児童が多いことから、語学に堪能な職員を配置し、また、在日の長い保護者の協力を得て意思疎通に努めました。入所状況では、0歳児、3歳児、4歳児が減少しましたが、5歳児受入数が伸びたため、ほぼ定員数に近い受入数となりました。

今年度は11月末までに1歳児で延6人の障害児を積極的に受入れました。

また、新型インフルエンザへの対応として、当園のインフルエンザ対応行動計画に基づき早くから予防措置に取り組みました。

なお、ノロウイルス対策についても、情報を的確に収集し未然防止を心がけるなど、昨年の教訓を生かすことで適切に対処しました。

#### ア 入所児童の状況

平成22年11月末の入所児童数は延べ462人であり、月平均入所児童数では、対前年同期比0.6人少なくなっており、0歳児については月平均1.9人減、年間で15人の減となりました。1歳児から5歳児までは、それぞれ増減はあるものの5名の減となりました。

なお、今年度も前年度同様障害を持った児童を11月まで1名受け入れました。

外国人児童の受入れ比率は全児童数の64%であり、特に、中国が一番多く37人中24人を占め、次いでフィリピン8名、タイ3名、ベトナム・ペルー各1人となっております。

#### イ 外国籍児童への対応

近隣の中華街等で働く外国籍の保護者のニーズに応え、中国語、英語、タガログ語の会話の出来る職員を継続して配置いたしました。

#### ウ 地域子育て支援事業

育児講座及び交流保育並びに地域への施設開放等を実施しました。

##### ○ 育児講座

地域のケアプラザで活動している親子サークルを対象に「手遊び・絵本の読み聞かせ」などの講座を実施し、保護者が子育てに関する理解を深めることにより、子育ての不安や悩みの解消及び地域の育児力の向上を図りました。

##### ○ 交流保育・地域への施設開放

夏祭りや運動会等に地域の子育て中の保護者とその児童を招待し、交流を図りました。

また、地域へのプール開放について、「広報よこはま中区版」に掲載したところ、夏季のプール遊びに地域の乳幼児の参加がありました。

毎週火・木曜日に保育所の保育室、遊戯室及び園庭等の施設を、子育て中の保護者とその児童等が相互に交流する場として提供し、子育ての不安や悩みの解消及び地域の育児力の向上を図りました。

○ 地域交流

寿地区自治会及び(財)寿町勤労者福祉協会などが主催する「ことぶき作品展」「寿地区七夕祭り」「夏祭り」「ことぶき打ち水作戦」「節分」などのイベントに参加し、地域との交流を行いました。

○ 世代間交流

「敬老の日の集い」では、園児の祖父母及び地域ケアプラザの高齢者を招いて、ゲーム、食事会などを行い、児童と高齢者との交流を図りました。

## 2 東門前保育園の運営

前年度に引続き入所児童の小学校の授業見学と参加、児童の保育学習等を実施するなど、幼稚園・保育園・小学校の連携に努めました。

また、新型インフルエンザへの対応として、当園の対応行動計画に基づき早くから予防措置に取り組みました。

一方、ノロウイルス対策についても情報を的確に収集し未然防止を心がけるなど、昨年の教訓を生かして適切に対処しました。

### ア 入所児童の状況

待機児童解消のための入所定員の弾力的運用を図り、平成22年11月末の入所児童数は延べ557人であり、定員を超えた月平均69.6人の児童を受け入れましたが、対前年同期比では0.2人の減少となりました。

特に、1歳児、3歳児が46人増加し、2歳児が34人減少しております。

### イ 地域活動事業

世代間交流事業、地域の異年齢児との交流事業、郷土文化伝承事業を、昨年に引続き実施しました。

○ 世代間交流事業

地域のお年寄り等を招待し、季節的行事等（敬老の日の集い・運動会等）を通じて児童との交流親睦を図りました。

○ 地域の異年齢児との交流事業

移動動物園、運動会、卒園児バーベキューを通して、地域の児童との交流を促進し、各年齢層のこども達とふれあうことで、年齢に対する自覚の醸成や、コミュニケーションの育成等を図りました。

○ 郷土文化伝承活動

夏祭りでの練り歩きの際に、市場囃子保存会と保育士の演奏等を見せて聞かせることで、園児の情操教育や地域の伝承文化に対する興味を持たず取り組みを行いました。

また、地域の夏祭りでお囃子の演奏を依頼され、積極的に参加しました。

## 3 川崎市大師保育園の運営

平成22年4月1日から新たに指定管理施設として当協会が管理運営を開始し、事業の円滑化を図るため、保護者・行政・指定管理者による三者会議の実施により、園児への影響及び保護者との信頼関係の構築などの確な対応に努めました。

また、新型インフルエンザへの対応として、当園の対応行動計画に基づき早くから予防措置に取り組みました。

#### ア 入所児童の状況

定員 130 人の入所児童定員に対し、月平均 129.8 人とほぼ定員数の児童を受け入れ、11 月末で延べ 1,038 人の児童を受け入れました。

特に、年齢別入所児童数では、0 歳児は他の年齢層に比較して延べ 96 人と少ないものの、1 歳児以降は年齢別定数を受け入れました。

なお、当園の特徴として、生後 43 日を経過した乳児を受け入れる産休明け保育を実施しました。

#### イ 地域活動事業

子育て家庭における保護者の子育て負担や不安・孤立感などが深まっていることから、当園の保育にかかる知識・経験・技術を活かし、地域活動事業を積極的に展開いたしました。

##### ○ 園庭開放

地域の同年齢の子どもと一緒に遊んだり園庭の遊具で遊ぶこと、また、来園した親同士の交流を図ることを目的に実施いたしました。

##### ○ 絵本の貸出し

在園児の保護者に対して絵本の貸出を行いました。

##### ○ 体験保育

地域在宅の児童を、各年齢 1 人、1 ヶ月単位で同じ年齢のクラスに入って遊ぶ体験保育を実施しました。

##### ○ にこにこぱーく（地域の異年齢児との交流事業）

地域在宅の児童を、年齢にあったクラス（保育室）に入ってもらい、保育園の子ども達といっしょに遊ぶことを実施しました。

##### ○ 郷土文化伝承活動

親子で、獅子舞の鑑賞等、日本の伝承文化に触れ楽しんでもらうことを実施しました。

#### ウ 相談・助言事業

園庭開放や体験保育に来園される保護者に、保育園における乳幼児の保育・子育てに関する相談・助言を実施しました

#### エ 次世代育成支援事業。

中高校生に子育ての意義や大切さを理解させることを目的に、保育園での職業体験学習を実施しました。

#### IV 勤労者の活動・交流等の場の提供 ＜多様な労働福祉サービス機能をいかした労働福祉施設の運営＞

##### 1 神奈川県立かながわ労働プラザの管理運営事業

労働者をはじめ県民の方々に、各種大会・研修・会議・サークル活動等の場を提供し、労働者の福祉の向上を図りました。

また、利用者の意見・要望への対応や満足度を評価していただくため、「かながわ労働プラザ運営委員会」を10月に1回開催したほか、会議室等の利用者を対象に満足度を調査・分析する為、前年と同じ調査を1回実施しました。

一方、労働情報コーナーにおける労働専門図書・資料等の選定方針等を検討するため「かながわ労働プラザ図書資料選定等委員会」を5月及び10月に開催しました。

講座の開催については、引き続き「源氏物語講座」を開講し、また、地域講座として、「横浜の過去と現在」に関するテーマを取り上げました。

なお、就業支援等に伴うパソコン等の資格取得講座を開催し、労働者の福祉の向上に努めました。

##### ア 利用状況

指定管理期間最終年度（5年目）に当たる今年度には、年間利用者数33万人を目標としていますが、11月末現在で25,272件220,988人の利用となっています。

特に、多目的ホールについては対前年同期比で約7,900人減少しておりますが、一方、会議室やトレーニング室等の利用が対前年度同期比で約3,800人伸びております。

##### イ 講座の開催

今年度は、新規事業として「ウォーキング講座」や「囲碁入門講座」を開催したほか、みなと横浜の歴史を学ぶ「横浜いまむかし」や、労働者のメンタルヘルスをテーマとして取り上げ、全体では11月末で11講座、受講人員延1,875人となりました。

##### ウ 利用者満足度調査

利用者の満足度や職員の対応等について、会議室等の利用者満足度調査を1回実施し、予約システムや設備・備品等の改善についての意見が多数寄せられ、また、労働情報コーナー利用者を対象にした満足度調査では、蔵書閲覧スペース拡大や利用時間の延長等の要望がありました。

なお、自主事業開催時にもアンケート調査を実施し、受講者のニーズの把握に努めました。

なお、利用者満足度調査の結果は、回答を添えて館内に掲示をいたしました。

##### エ 「プラザ通信」の発行

多くの県民の皆様に、かながわ労働プラザをより一層ご利用いただけるよう、施設内容や事業内容を周知し、併せて労働福祉の増進に資するため、今年度は11月に第3号として2,000部を発行し、近隣類似施設をはじめ市町村図書館や関係団体等に配布したほか、

1階「情報ひろば」に配架いたしました。

#### オ 労働情報の提供（再掲）

労働に関する図書・資料等を収集し、様々な情報を提供したほか、新聞資料のクリッピング掲示や、スクラップブックに整理した情報の提供、その時々テーマに沿った特集コーナーの充実も併せて実施いたしました。

#### カ 施設整備

備品の更新として多目的ホール椅子の購入を始め、トレーニング室の更衣ロッカー等を設置し、さらに多目的ホールの椅子や予約システム端末修理を実施しました。

## 2 川崎市生活文化会館（てくのかわさき）の管理運営事業

技能振興や市民の学習、交流活動等の場を提供し、前年を上回る利用がありました。

また、利用者の意見・要望や満足度の評価ならびに「利用者の声」への対応を論議していただくため、「川崎市生活文化会館利用者懇談会」を9月に1回開催しました。

講座の開催については、技能振興に寄与する施設に鑑み、技能をテーマにしたものを多く取り入れたものとなりました。

#### ア 利用状況

平成22年度11月末までの利用件数は3,761件120,009人と、対前年同期比213件約6,400人の増加となりました。

#### イ 講座の開催

新規事業として、技能振興に寄与する「銀の手作りストラップ教室」のほか、青少年に将来の職業選択の選択肢を広げることを目的とした「中華料理教室」等16講座を開催しました。

特に、今年度は親子対象の講座を増やすなど、3講座を開催しました。

なお、受講者数は11月末で延1,108人となっております。

#### ウ 利用者アンケート等

利用者アンケート調査は、施設等に対する利用者の重要度や満足度について、より具体的にかつ簡便に回答できるようアンケート項目等を変更し、年1回（10月）実施し、協力者には粗品（メモ帳）を進呈しました。

また、アンケート調査や「利用者の声」（ご意見箱）では、依然として施設の構造上の問題点や施設整備等に対する意見が多く寄せられました。

なお、アンケート結果や「利用者の声」については、回答を添えて館内に掲示をいたしました。

また、受講者のニーズを把握するため、各種講座開催時にもアンケート調査を実施しました。

エ 施設整備等

今年度は、貸出用テレビモニターの購入、また、トイレ設備補修を実施し、利用者サービスの向上に努めました。

オ 「てくのだより」の発行

利用者と地域とのふれあい・交流を深めるために「てくのだより」を6月(6号)、9月(7号)の2回5,000部発行し、川崎市技能職団体連絡協議会等に配布したほか、館内に配架いたしました。

**V 公益法人制度改革の取り組み**  
**<公益法人制度改革への適切な対応>**

**1 公益財団法人への移行認定申請及び認定通知について**

平成22年4月15日に神奈川県知事あて公益財団法人への移行申請を行い、同年11月19日に公益財団法人への移行認定通知書が知事から交付されました。

# 平成22年度

# 資 料

自 平成22年 4月 1日

至 平成22年11月30日

I	財団の運営	1
1	沿革	1
2	会議	2
II	組織及び役職員の状況	3
1	組織	3
2	役職員の状況	3
III	事業の概要	4
1	労働者の就労支援	5
2	労働情報の提供	1 1
3	勤労家庭への保育環境の提供	1 2
4	勤労者の活動・交流の場の提供	1 8

## I 財団の運営

### 1 沿革

昭和 32. 12. 1	県庁内に「神奈川県日雇労働者福利厚生協会」設立
33. 12. 26	協会の名称を「神奈川県労働福祉協会」に変更
35. 10. 24	「財団法人神奈川県労働福祉協会」設立
35. 12. 1	「東門前保育園」開設
40. 4. 1	「ことぶき保育園」開設
46. 12. 1	「なかがわ荘」開設 運営を受託
49. 10. 7	「寿町事務所」(現寿労働センター) 開設
49. 12. 1	「日雇労働者年末福祉金」給付開始
50. 5. 7	協会事務所を県住宅供給公社ビル6階に移転
52. 8. 22	「サンライフ横浜」開設 運営を受託
57. 1. 1	寿町事務所の名称を 「横浜日雇労働センター無料職業紹介所」に改称
57. 2. 24	東門前保育園 園舎新築完成
57. 7. 22	「中小企業労働研修センター」開設 運営を受託
57. 10. 27	協会事務所を中小企業共済会館4階に移転
57. 12. 12	「サンライフ川崎」開設 運営を受託
58. 8. 23	サンライフ川崎に体育館併設 運営を受託
60. 4. 1	「勤労会館」の運営を受託 協会事務所を勤労会館に移転
平成 1. 4. 1	横浜日雇労働センター無料職業紹介所の名称を 「寿労働センター無料職業紹介所」に改称
2. 4. 1	なかがわ荘の名称を「ハイツ&ヴィラなかがわ」と改称
2. 10. 24	財団設立30周年記念式典を開催(於:勤労会館)
4. 10. 31	勤労会館閉館
4. 11. 16	協会事務所を神奈川県山下分庁舎北側分室に移転
7. 9. 23	協会事務所をかながわ労働プラザ7階に移転
7. 10. 1	神奈川県立かながわ労働プラザ開設(公の施設の運営を受託)
13. 7. 1	厚生労働省より「日雇労働者等技能講習事業」受託
15. 12. 21	サンライフ横浜閉館
17. 8. 3	「神奈川県ホームレス就業支援協議会」設立
17. 8. 29	神奈川県ホームレス就業支援協議会が厚生労働省より 受託した「ホームレス就業支援事業」の一部を受託
18. 3. 31	ハイツ&ヴィラなかがわ、中小企業労働研修センター、 サンライフ川崎の3施設閉館
18. 4. 1	指定管理者として、「かながわ労働プラザ」及び「川崎市 生活文化会館」の運営開始 新たな労働福祉事業として、「労働教育・研修事業」、「労 働運動史編纂事業」、「労働情報提供サービス事業」を開始
21. 6. 15	ホームレス就業支援事業として、住居喪失不安定就労者に対し、「か ながわチャレンジネット」を開設し、就業支援相談・生活相談を開始
21. 10. 1	「川崎市大師保育園備室」を設置し、川崎市との共同保育を開始
22. 4. 1	指定管理者として「川崎市大師保育園」の運営開始

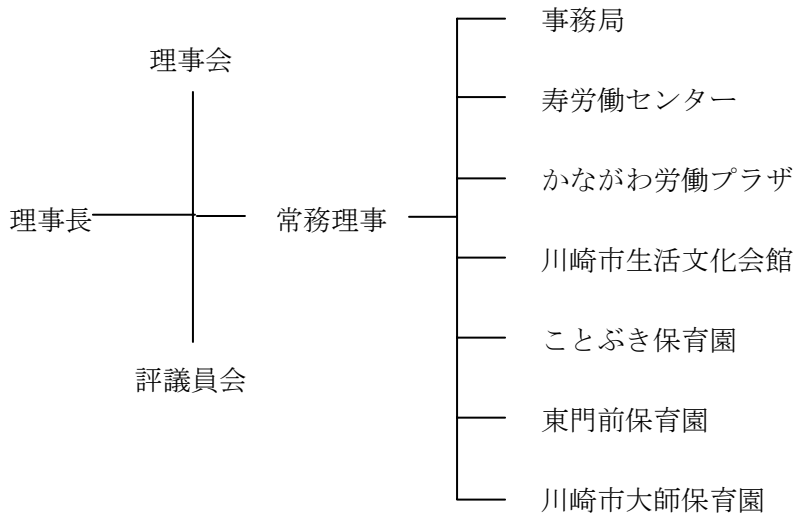
## 2 会議の開催

平成 22 年度実施

区 分	開 催 日	内 容 (審議事項等)
理 事 会	平成 22 年 6 月 8 日 (火)	<b>【議案】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 専決処分の承認を求めることについて<ul style="list-style-type: none"><li>(1) 情報公開規程の一部改正について</li></ul></li><li>・ 平成 21 年度事業報告及び決算報告について</li><li>・ 諸規程の一部改正について<ul style="list-style-type: none"><li>(1) 職員就業規程の一部改正について</li><li>(2) 育児休業及び介護休業等に関する規程の一部改正について</li></ul></li><li>・ 神奈川県立かながわ労働プラザ指定管理者の指定の申請について</li><li>・ 任期満了に伴う評議員の選任について</li></ul> <b>【報告事項】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 公益財団法人への移行認定申請について</li></ul>
評 議 員 会	平成 22 年 6 月 8 日 (火)	<b>【議案】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 任期満了に伴う理事及び監事の選任について</li></ul> <b>【報告事項】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 専決処分について<ul style="list-style-type: none"><li>(1) 情報公開規程の一部改正について</li><li>(2) 平成 21 年度事業報告及び決算報告について</li></ul></li><li>・ 諸規程の一部改正について<ul style="list-style-type: none"><li>(1) 職員就業規程の一部改正について</li><li>(2) 育児休業及び介護休業等に関する規程の一部改正について</li></ul></li><li>・ 神奈川県立かながわ労働プラザ指定管理者の指定の申請について</li><li>・ 公益財団法人への移行認定申請について</li></ul>

## II 組織及び役職員の状況

### 1 組織



### 2 役職員の状況

平成 22 年 11 月 30 日現在

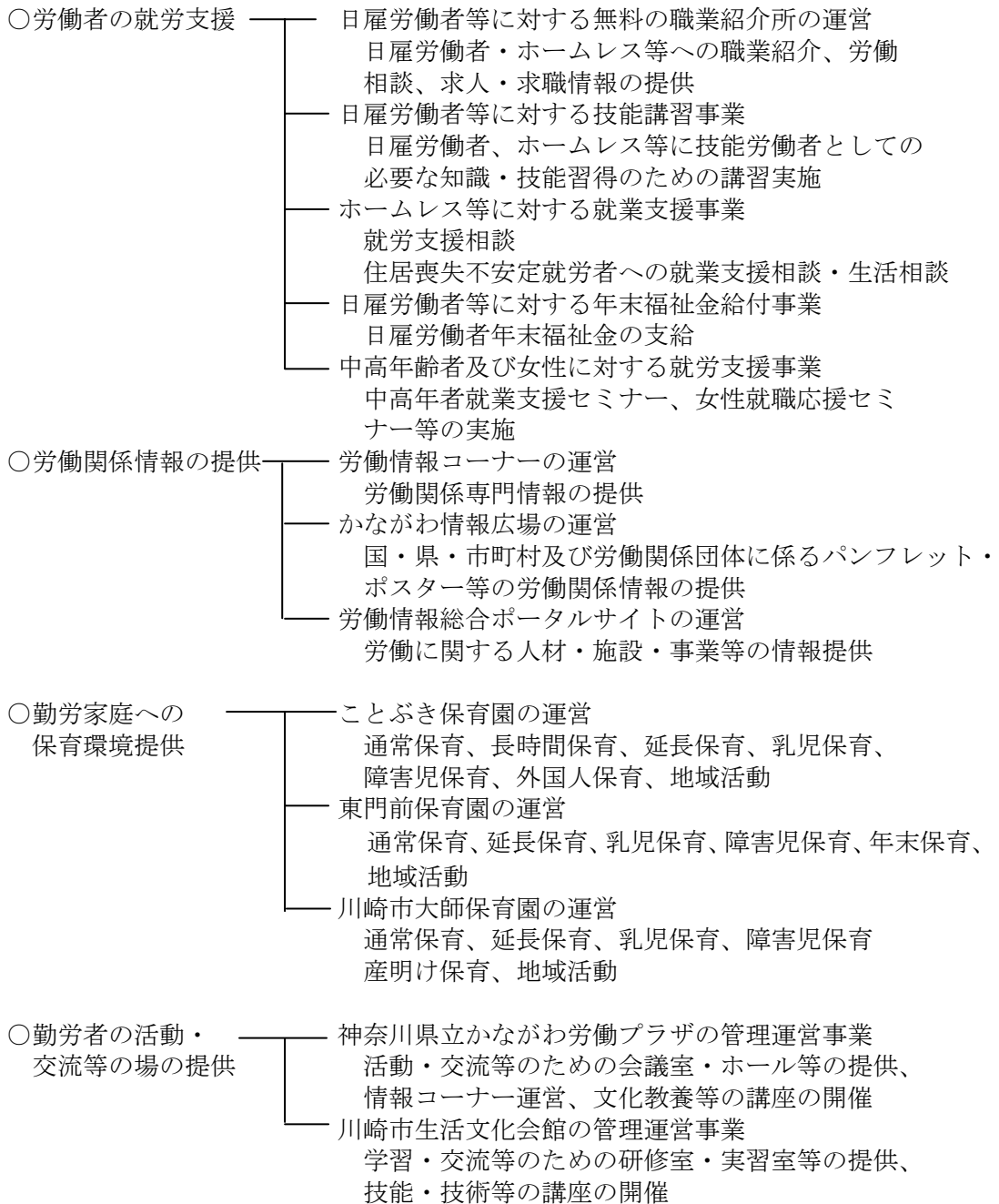
	役員		常勤職員	非常勤職員	計
	理事長	常務理事			
役員	1	2			3
事務局			5		5
寿労働センター			12	13	25
かながわ労働プラザ			3	18	21
川崎市生活文化会館			2	13	15
ことぶき保育園			10	8	18
東門前保育園			11	8	19
川崎市大師保育園			23	16	39
合計	1	2	66	76	145

\*常務理事 2 名のうち 1 名は事務局常勤職員と兼務（役員に計上）

### Ⅲ 事業の概要

#### ○平成 22 年度主要事業体系図

##### ■労働福祉の充実と雇用の安定を目指して



## 1 労働者の就労支援

### <日雇労働者への効果的な就業支援>

#### (1) 日雇労働者に対する無料の職業紹介事業

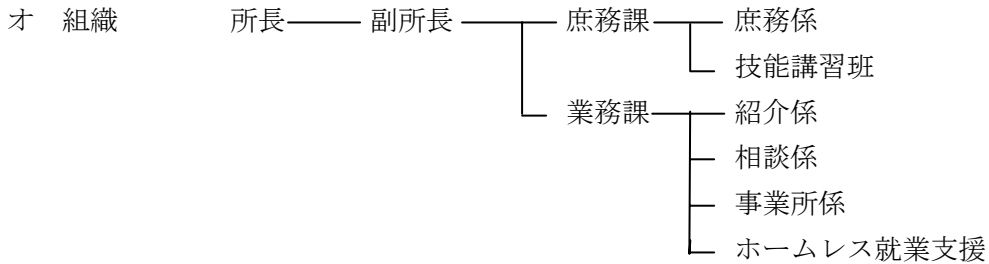
ア 設置目的 横浜市中区寿町及び周辺地区の日雇労働者を対象に、厚生労働大臣から許可を受け、無料の職業紹介事業を実施することにより、雇用の安定と就労経路の正常化、青空労働市場の解消及び労働条件の改善を図る。

イ 所在地 横浜市中区寿町 4-14（寿町総合労働福祉会館内）

ウ 開設 昭和 49 年 10 月 7 日

エ 施設の内容

1 階の一部	求人・求職受付事務室、寄場等	161.73 m <sup>2</sup>
中 2 階	事務室、職業相談室、会議室	256.89 m <sup>2</sup>
中 3 階の一部	会議室等	65.12 m <sup>2</sup>
計		483.74 m <sup>2</sup>
		県有分 (45.5%) 220.098 m <sup>2</sup>
		横浜市民分 (54.5%) 263.642 m <sup>2</sup>



#### カ 求職者の年齢構成

(毎年 10 月調べ)

区 分		20 年度	21 年度	22 年度
29 歳以下	人 数	12 人	35 人	30 人
	構成比	0.5%	1.9%	1.5%
30 歳～39 歳	人 数	95 人	69 人	100 人
	構成比	4.0%	3.8%	5.1%
40 歳～49 歳	人 数	332 人	246 人	287 人
	構成比	14.0%	13.5%	14.6%
50 歳～59 歳	人 数	1,255 人	901 人	774 人
	構成比	53.0%	49.4%	39.4%
60 歳以上	人 数	675 人	573 人	774 人
	構成比	28.5%	31.4%	39.4%
合 計	人 数	2,369 人	1,824 人	1,965 人
平均年齢		56.7 歳	57.2 歳	57.6 歳

キ 事業所登録状況

(H. 22. 4. 1～11. 30)

区 分		20年度	21年度	22年度
新規登録事業所数		66社	45(34)社	22社
登録抹消事業所数		15社	84(52)社	22社
年度末有効登録事業所数		961社	922(943)社	922社
産業別内訳	建設業	765社	710(736)社	699社
	製造業	20社	19(19)社	19社
	運輸業	33社	31(31)社	31社
	サービス業・その他	143社	162(157)社	173社

\* 21年度( )内数は、11月末までの実数

ク 求人開拓実施状況

(H. 22. 4. 1～11. 30)

区 分			20年度	21年度	22年度	
職安・関係機関訪問連絡等			3,385件	3,044件 (2,053)	2,592件	
求人開拓	訪 問	登録勧奨	1,388件	1,197件 (848)	1,380件	
		利用勧奨	389件	707件 (484)	401件	
		宿舍調査	9件	1件 (0)	1件	
		計	1,786件	1,905件 (1,332)	1,782件	
	電 話	登録勧奨	2,660件	2,664件 (1,719)	1,872件	
		利用勧奨	4,942件	4,872件 (3,104)	3,117件	
		計	7,602件	7,536件 (4,823)	4,989件	
	文 書	登録勧奨	2,574件	2,519件 (2,317)	1,644件	
		利用勧奨	86件	491件 (473)	35件	
		計	2,660件	3,010件 (2,790)	1,679件	
	合 計			12,048件	12,451件 (8,945)	8,450件
	開拓 求人 人数	日 雇	総求人数	10,458人	7,479人 (4,927)	4,600人
			開拓求人数	4,690人	6,400人 (3,918)	4,127人
			開拓求人割合	44.8%	85.6% (79.5)	89.7%
		有 期	総求人数	21,337人	16,275人 (10,401)	10,121人
開拓求人数			17,364人	11,383人 (8,385)	2,715人	
開拓求人割合			81.4%	69.9% (80.6)	26.8%	
常 用		総求人数	876人	1,334人 (923)	747人	
		開拓求人数	354人	692人 (414)	277人	
		開拓求人割合	40.4%	51.94% (44.9)	37.1%	

\* 21年度( )内数は、11月末までの実数

ケ 職業紹介業務取扱状況

(H. 22. 4. 1～11. 30)

区 分		20 年度	21 年度	22 年度
日 雇	求人件数	3, 227 件	2, 333 件 (1, 502)	1, 480 件
	求人延数	10, 458 人	7, 479 人 (4, 927)	4, 600 人
	紹介就労数	10, 355 人	7, 418 人 (4, 898)	4, 492 人
	未充足数	103 人	61 人 (29)	108 人
有 期	求人件数	557 件	355 件 (179)	303 件
	求人延数	21, 337 人	16, 275 人 (10, 401)	10, 121 人
	紹介就労数	17, 624 人	13, 642 人 (8, 317)	9, 296 人
	取消求人数	3, 713 人	2, 633 人 (2, 084)	825 人
常 用	求人件数	201 件	286 件 (200)	191 件
	求人数	876 人	1, 334 人 (923)	747 人
	紹介数	91 人	132 人 (96)	78 人
	就職数	60 人	87 人 (58)	48 人

\* 21 年度 ( ) 内数 は、11 月末までの実 数

コ 相談業務取扱状況

(H. 22. 4. 1～11. 30)

区 分		20 年度	21 年度	22 年度	
労働者からの相談	職業相談	求人情報の提供	20, 879 件	20, 074 件 (14, 805)	13, 325 件
		職業相談	3, 619 件	3, 493 件 (2, 457)	2, 770 件
		求職カードの作成	112 件	112 件 (97)	33 件
		金相談	117 件	113 件 (80)	57 件
		雇用保 相談	246 件	226 件 (155)	79 件
		健康保 相談	88 件	84 件 (64)	23 件
		雇用保 加入指導	317 件	297 件 (202)	191 件
		健康保 加入指導	539 件	500 件 (303)	250 件
		労 保 相談	1 件	1 件 (0)	0 件
		その他労働相談 ( 情等)	301 件	326 件 (269)	354 件
	計	26, 219 件	25, 226 件 (18, 432)	17, 082 件	
	その他の相談	金 相談	54 件	61 件 (37)	27 件
		生活・健康相談	56 件	65 件 (45)	59 件
		いの対応	1, 080 件	1, 072 件 (633)	487 件
電話番号案内		526 件	518 件	264 件	

				(305)	
		その他案内、件	1,399件	1,383件 (876)	543件
		計	3,115件	3,099件 (1,896)	1,380件
合 計			29,334件	28,325件 (20,328)	18,462件
事業所からの相談	事業所関係等	金相談	205件	201件 (106)	71件
		雇用保 相談	205件	203件 (123)	65件
		健康保 相談	55件	56件 (39)	10件
		労 相談	0件	0件 (0)	0件
		その他の相談	136件	134件 (114)	118件
		関係機関の紹介等	86件	115件 (114)	140件
合 計			687件	709件 (496)	404件

\* 21年度 ( ) 内数 は、11月末までの実 数

(2) 日雇労働者等に対する技能講習事業

(H. 22. 4. 1～11. 30)

区 分	20年度	21年度	22年度
期間指定受講者	45科目・303人	50科目・385人 (30) (232)	36科目・212人
常設講習受講者	25科目・72人	27科目・65人 (26) (48)	25科目・40人
合 計	70科目・375人	77科目・450人 (56) (280)	61科目・252人

\* 21年度 ( ) 内数 は、11月末までの実 数

○期間指定 集

(H. 22. 4. 1～11. 30)

講 習 科 目	教 習 施 設	講 習 期 間	集 人 数	応 人 数	受 講 者 数
上操作式クレーン	H	4 20～4 22	10	8	8
ガス 接	H	4 26～4 27	10	10	7
め	キャタピラー	5 13～5 14	10	9	9
小型移動式クレーン	H	5 18～5 20	10	10	10
フォークリフト	キャタピラー	5 24～5 28	10	20	10
ンドラ	H	6 1～6 2	10	4	4
高所作業	キャタピラー	6 2～6 4	10	9	9
・ 化水 作業主任	H	6 10～6 12	10	6	6
フォークリフト	キャタピラー	6 14～6 18	10	21	10
警備業初任者講習	警備業協会	6 22～6 30	10	0	0
電気取扱 (低 高 )	H	6 23～6 24	10	9	9
アーク 接	キャタピラー	6 30～7 2	10	8	5
有機 作業主任	H	7 3～7 4	10	7	6

フォークリフト再訓練	キャタピラー	7 7～7 9	5	4	3
建機・基	H	7 12～7 15	5	5	5
作業主任	H	7 23～7 24	10	3	3
フォークリフト	キャタピラー	7 26～7 30	10	13	10
け	キャタピラー	8 4～8 6	10	7	5
建機・整地 解体	キャタピラー	8 9～8 14	10	9	9
安全 生 任者・職長教育	キャタピラー	8 19～8 20	10	10	9
フォークリフト	キャタピラー	8 23～8 27	10	10	10
高所作業	キャタピラー	9 1～9 3	10	0	0
ビルクリーニング	建物管理ネット	9 6～9 10	10	12	12
研 ・振動 具・	キャタピラー	9 7～9 10	10	9	9
フォークリフト	キャタピラー	9 13～9 17	10	6	5
建機・再訓練	キャタピラー	9 29～10 1	5	0	0
就職 備講座	寿労働センター	10 2	8	5	4
け	H	10 7～10 9	10	5	5
警備業初任者講習	警備業協会	10 13～10 21	10	7	5
小型移動式クレーン	H	10 14～10 16	10	8	8
フォークリフト	キャタピラー	10 18～10 22	10	4	4
電気取扱（低 高 ）	H	10 25～10 26	10	6	5
上操作式クレーン	H	11 2～11 4	10	2	2
建機・基	H	11 8～11 11	5	5	3
フォークリフト	キャタピラー	11 15～11 19	10	4	3
作業主任	H	11 26～11 27	10	0	0
合 計			503	255	212

○ 常設分

(H. 22. 4. 1～11. 30)

講 習 科 目	教 習 設 施	集 人 数	応 人 数	受 講 者 数
ガス 接	コマツ	5	2	2
アーク 接	コマツ	5	2	2
フォークリフト	コマツ	10	1	1
け	コマツ	5	4	4
小型移動式クレーン	コマツ	5	3	2
高所作業	コマツ	5	2	2
建設機 ・整地	コマツ	5	2	2
建設機 ・解体	コマツ	3	1	1
ショベルロー	コマツ	5	1	1
上操作式クレーン	コマツ	5	2	1
不整地運	コマツ	5	0	0
め用機	コマツ	5	1	0

チェーンソー	コマツ	5	0	0
研	コマツ	10	0	0
機	コマツ	10	1	1
振動 具	コマツ	10	0	0
作業主任者	キャタピラー	5	0	0
クレーン運転士 許	コマツ	2	1	1
大 特 自動 許	ドライビングカレッジ	10	5	5
大型自動 第1種 許	ドライビングカレッジ	5	5	5
通自動 第1種 許	ドライビングカレッジ	8	5	5
通自動 第2種 許	急自動 学校	10	1	1
ホームヘルパー2	ニック	5	1	1
パソコン	イエックス	5	3	3
業体験	日本 業実 学園	2	0	0
合 計		150	43	40

(3) ホームレス等に対する就業支援事業

(H. 22. 4. 1~11. 30)

区 分		20 年度	21 年度	22 年度	
就業支援相談	横浜相談室	事業登録者	131 人	157 人 (116)	120 人
		相談件数	977 件	1,481 件 (1,085)	1,144 件
	川崎相談室	事業登録者	281 人	266 人 (210)	140 人
		相談件数	1,461 件	1,597 件 (1,105)	783 件
就業者数	横浜相談室	98 人	116 人 (80)	88 人	
	川崎相談室	91 人	101 人 (72)	34 人	
	計	189 人	217 人 (152)	122 人	

\* 21年度 ( ) 内数 は、11月末までの実 数

○かながわ住居喪失不安定就労者相談室(かながわチャレンジネット)(H. 22. 4. 1~11. 30)

区 分		21 年度	22 年度	
就業支援相談	相 談 者 数	162(66) 人	220	
	就 労 相 談	相談件数	93(37) 件	68
		紹介件数	4(3) 件	3
		就職件数	3(2) 件	5
	生 活 相 談	94(50) 件	281	
	住 居 相 談	相談件数	65(34) 件	62
		貸付件数	4(1) 件	0
相談件数(就労・生活・住居)		252(121) 件	411	

\* 21年度 ( ) 内数 は、11月末までの実 数

就職件数は、当所の求人以外での就職が まれるため、紹介件数を上回っています。

(4) 中高年齢者及び女性に対する就労支援事業

対象	講座名	開催地域・開催日	受講者数
中高年齢者	就業支援セミナー 就職 備ガイ ンス ワード基 速習	横浜 ( 区) 5 19 10～12 1 回 5 26 9～16 1 回	19 人 (延 19 人) 14 人 (延 14 人)
	就業支援セミナー 就職 備ガイ ンス エクセル基 速習	横浜 ( 区) 6 17 10～12 1 回 6 24 9～16 1 回	18 人 (延 18 人) 12 人 (延 12 人)
	就業支援セミナー 就職 備ガイ ンス ライフプランセミナー	横浜 ( 区) 7 20 10～12 1 回 7 27 10～12 1 回	20 人 (延 35 人)
	就職応援セミナー 就職 備ガイ ンス 事に活かすカラーセミナー	川崎 (高 区) 9 3 前・1 回 9 9 前・1 回	27 人 (延 49 人)
	就職応援セミナー 就職 備ガイ ンス 事に活かすカラーセミナー	市 10 20 前・1 回 10 27 前・1 回	27 人 (延 47 人)
	就職応援セミナー ワーキング 備セミナー 始めの一步は資格取得から	横浜 (中区) 11 8 前・1 回 11 24 前・1 回	18 人 (延 34 人)
合 計			155 人 (延 228 人)

## 2 労働情報の提供 ＜労働情報機能の強化、充実＞

### (1) 労働情報コーナーの運営

業務取扱状況

(H. 22. 4. 1～11. 30)

	20 年度	21 年度	22 年度
入館者数	17,591 人	16,604 人	13,022 人
貸出カード登録者数	186 人	201 人	132 人
貸出件数	1,224 件	1,384 件	1,226 件
貸出 数 (ビデオ む)	2,366	2,524	2,137
レファレンスサービス件数	174 件	194 件	172 件
配布資料 数	668	571	494
一時貸出人数	322 人	288 人	229 人

### (2) 労働情報総合ポータルサイトの運営

アクセス状況（ ット数）

(H. 22. 4. 1～11. 30)

4 月	5 月	6 月	7 月	
551 件	294 件	586 件	576 件	
8 月	9 月	10 月	11 月	合 計
479 件	489 件	568 件	586 件	4,129 件

### 3 勤労家庭への保育環境の提供 ＜労働者の就労を支援する保育サービス＞

#### (1) ことぶき保育園の運営

ア 設置目的 就労家庭の乳幼児や一人親などのため保育を必要とする乳幼児を受け入れて、適切な保育を行うことによって、その親たちの働きやすい環境をつくり、福祉の増進に寄与する。

イ 所在地 横浜市中区寿町 3-12-1

ウ 開設 昭和 40 年 4 月 1 日

エ 地面積 721.45 m<sup>2</sup>（横浜市から無 貸付）

オ 建物 園舎 コンクリート造 4 階建の 1 階部分  
・休 室 造 メッキ 板 2 階建て  
プレイルーム 造 メッキ 板 平

#### カ 施設の内容

1 階部分	園舎（保育室・調理室・事務室他）	284.28 m <sup>2</sup>
1 2 階建	1 階、2 階休 室	20.68 m <sup>2</sup>
1 平	プレイルーム	16.85 m <sup>2</sup>
計		321.81 m <sup>2</sup>

キ 組織 園長——保育長——主任保育士——  
— 保育士  
— 養士  
— 調理員  
— 保育士助手  
— 業務員

ク 入所児童定員 60 名（乳児 15 名 幼児 45 名）

ケ 保育時間

- ・通常保育 月～金 8 30～16 30  
土曜日 8 30～12 30
- ・長時間保育 月～金 7 30～ 8 30・16 30～18 30  
土曜日 7 30～ 8 30・12 30～17 00
- ・延長保育 月～金 18 30～19 00

コ 入所児童の状況

(H. 22. 4. 1～11. 30)

年齢別	20年度 (人)		21年度 (人)		22年度 (人)	
	年間(延数)	月平均	年間(延数)	月平均	年間(延数)	月平均
歳児	44	3.7	67(43)	5.6(5.4)	28	3.5
1歳児	128	10.7	111(75)	9.3(9.4)	72(6)	9(0.8)
2歳児	101	8.4	122(80)	10.1(10.0)	79	9.9
3歳児	149	12.4	122(81)	10.1(10.1)	87	10.9
4歳児	120(12)	10.0(1.0)	162(107)	13.5(13.4)	86	10.8
歳児	183	15.2	129(12)	10.8(1.0)	110	13.8
			81(8)	10.1(1.0)		
合計 (平均)	725(12)	60.4(1.0)	713(12)	59.4(1.0)	462(6)	57.8(0.8)
			467(8)	58.4(1.0)		

\*22年度( )は障害児で内数

\*21年度の下 の数 は、11月末までの実数

サ 外国籍児童の状況

(各年度4月現在)

国籍	20年度 (人)	21年度 (人)	22年度 (人)
日本	7	6	
中国	24	21	24
国	3	1	
フィリピン	3	6	8
タイ	3	1	3
ベトナム			1
ペルー			1
合計	40	35	37

日本国籍を有する児童であっても、父母のいずれかが外国籍の場合は外国籍児童となる。

シ 地域子育て支援事業

実施項目	実施年月日	対 象	実施内容	参加人員	備
育児講座	毎月第4月曜日	地域ケアプラザで活動している親子サークル	・手遊び ・絵本の読み聞かせ ・子育てに関する相談	(延) 組 11人	
交流保育・地域への施設開放	基本は火曜日・木曜日 月、月はプール開放	地域の乳幼児	・保育室、園庭で園児たちと交流 ・夏は乳幼児のプール遊びに参加	(延) 組 16人	中区役所こども家庭課の協力で広報「よこはま」中區版に掲載
地域交流	6月～11日 月 日 月3日 月6日 月13日 月1日 1月1日 1月14日	地域住民・寿福祉センター保育所の園児	・作品展(園児の作品出品) ・七夕まつり ・夏祭り ・ことぶき打ち水作戦 ・寿地区夏祭り ・寿地区敬老交流会 ・運動会 ・防パレード	寿福祉センター保育所 園児・保護者 2歳児～年長児参加	
世代間交流	月	近隣の高齢者及び園児の祖父母	・敬老の日の集い(ゲーム・会食)	自治会 名 園児の祖父母4名	

## (2) 東門前保育園の運営

ア 設置目的 地域勤労家庭の保育にける乳幼児をかり適切な保育を行うことにより、働く親たちの勤労意の向上を図り、福祉の増進並びに生活の安定に寄与する。

イ 所在地 川崎市川崎区東門前1-8-2

ウ 開設 昭和35年12月1日(昭和57年2月24日現園舎に全面改築)

エ 地面積 662.15㎡(川崎市から無貸付)

オ 建物 コンクリート造 2階建 1

カ 施設の内容

1階	園舎(保育室・調理室・事務室他)	273.609㎡
2階	保育室	180.457㎡
計		454.066㎡

キ 組織 園長——保育長——主任保育士——保育士

- 養士
- 調理員
- 保育士助手
- 業務員

ク 入所児童定員 60名（乳児15名 幼児45名）

ケ 保育時間・事業

- ・通常保育 月～土 7:00～18:00
- ・延長保育 月～土 18:00～19:00
- ・年末特例保育(12.29.30.31) 8:30～18:00 平成14年度より実施
- ・幼児完全給食 平成16年度より実施
- ・学童保育 平成17年度より～平成19年度
- ・地域活動事業等 世代間交流・異年齢児交流・保育所体験特別

コ 入所児童の状況 (H.22.4.1～11.30)

年齢別	20年度 (人)		21年度 (人)		22年度 (人)	
	年間(延数)	月平均	年間(延数)	月平均	年間(延数)	月平均
歳児	60(12)	5.0(1.0)	72 (48)	6.0 (6.0)	48	6.0
1歳児	132(12)	11.0(1.0)	72(12) 48(8)	6.0(1.0) 6.0(1.0)	64	8.0
2歳児	96(12)	8.0(1.0)	167(12) 111(8)	13.9(1.0) 13.9(1.0)	77	9.6
3歳児	168	14.0	150(12) 98(8)	12.5(1.0) 12.3(1.0)	128	16.0
4歳児	180(12)	15.0(1.0)	185 125	15.4 15.6	120	15.0
歳児	192(24)	6.0(2.0)	183(12) 128(8)	15.3(1.0) 16.0(1.0)	120	15.0
合計 (平均)	845(60)	70.4(5.0)	819(60) 558(32)	68.3(5.0) 69.8(4.0)	557	69.6

\* ( )は障害児で内数、障害児は認定前のため計上せず

\* 21年度下の数は、11月末までの実数

サ 地域活動事業

実施項目	実施年月日	対 象	実施内容	参加人員
世代間交流	月 1 日	地域のお年寄り	・敬老の日の集い (園児の出し物鑑賞 遊具製作、お遊戯を行う) ・運動会 (敬老 技に園児と参加)	2 人
	1 月 16 日			人
地域の異年齢児との交流事業	月 2 日	地域就学前児童 卒園児及び保護者	・移動動物園 ・プール開放 ・運動会への招待 ・卒園児バーベキューへの招待 ・園庭解放	1 人
	月 2 日～ 月 31 日			人
	1 月 16 日			3 人
	11 月 2 日			人
	常 時			人
郷土文化伝承事業	月 1 日 月 21 日～ 22 日	入所児童 地域住民	・夏祭り (お囃子・獅子舞) ・町内会夏祭りへの参加依頼によるお囃子の演奏	1 人

## (2) 川崎市大師保育園の運営

ア 所在地 川崎市川崎区出来野 1-17

イ 構造規 造 コンクリート造 2階建 836.84 m<sup>2</sup>

ウ 開設 昭和 26 年 7 月 1 日

エ 保育目的 平成 22 年度 4 月からの指定管理者主体による運営開始後も円滑に園運営を行うため、事務及び実務の引き継ぎ その他必要な引継ぎ業務を行、移行による在園児への影響及び保護者との信頼関係の構築等に努める。

オ 組織

```

  園長——— 主任保育士
  (1)         (2)
  |
  |——— 保育士(17)
  |——— 養士(1)
  |——— 調理員(2)
  |——— 非常勤保育士(11)
  |——— 非常勤事務員(1)
  |——— 非常勤 護師(1)
  |——— 非常勤調理員(1)
  |——— 非常勤業務員(2)
  
```

カ 開園日及び開所時間

○ 開園日

月曜から土曜（国民の日にに関する法に規定する休日を除く）  
ただし、12/29から1/3は休園

○ 開所時間

前7時から 後8時まで

- ・ 通常保育： 前7時から 後6時まで
- ・ 延長保育： 後6時から 後8時まで

キ 年齢別児童定員

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
21年度	12	16	20	24	24	24	120
22年度	12	20	24	25	24	25	130

\* 5歳児に産明け児を含む

ク 入所児童の状況

(H. 22. 4. 1~11. 30)

年齢	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	合計	月(平均)
0歳児	12	12	12	12	12	12	12	12	96	12.0
1歳児	20	20	20	20	20	20	20	20	160	20.0
2歳児	24	24	23	24	24	24	24	24	191	23.9
3歳児	25(1)	25(1)	25(1)	25(1)	25(1)	25(1)	25(1)	25(1)	200(8)	25.0
4歳児	24(1)	24(1)	24(1)	24(1)	24(1)	24(1)	24(1)	24(1)	192(8)	24.0
5歳児	25(1)	25(1)	25(1)	25(1)	25(1)	25(1)	25(1)	24(1)	199(8)	24.9
合計	130(3)	130(3)	129(3)	130(3)	130(3)	130(3)	130(3)	129(3)	1,038 (24)	129.8

\* ( ) 内数は障害児童数

ケ 地域活動事業

実施項目	実施年月日	対象	実施内容	参加人員
園庭解放	4月～11月 月～金曜日 9:30～14:00	地域未就学在 宅親子 地域児童施設 通園児	・同年齢の子どもと関わりながら遊ぶ ・園庭の遊具で遊ぶ ・安全な遊び場の提供 ・来園した親同士の交流を図る ・保育士、養士、護師による相談を随時受け	13人
絵本の貸出し	5月～11月 月～金曜日	地域未就学在 宅親子 地域児童施設 通園児	・絵本の貸出し（貸出しに記載）	3人
体験保育	毎月 (3月は除く)	0歳児 (9:00～10:30) 1歳児 (10:00～10:40)	・同年齢のクラスに入って、園児と一緒に親子で保育体験をする。	4人

		2～5 歳児 (9 0～11 00)		
にこにこぱーく (地域の異年齢 児との交流事業)	毎月第2木曜 月から	地域未就学在 宅親子	・同年齢のクラスに入って、園児 と一緒に遊び月によりお楽しみ 会に参加する。 ・9 50分受付 10 00～10 30	1 人
郷土文化伝承活 動 移動動物園 夏祭り 運動会 パーティー	6月1日 月1日 1月2日 11月日	地域未就学在 宅親子	・日本の伝 行事に触れ親しむ ・行事に参加することにより季 節感を味わう	2 人 6 人 13人 人

#### コ 次世代育成支援事業

実施項目	内 容	学校名	実施月日	参加人員
職場体験 講習	幼児クラスに入って保育士 を手伝いながら、事を体験 する。	大師高校	6月23日 月2日 11月1日	計4人
	事の一部を体験すること により、働くことの意義や社 会的なルールやマナーを知 る。	大師中学 大師 高校	6月1日 月3日 1月1日	22人 計1人

#### 4 勤労者の活動・交流の場の提供

##### <多様な労働福祉サービス機能をいかした労働福祉施設の運営>

##### (1) 神奈川県立かながわ労働プラザの管理運営事業

ア 設置目的 労働者の 活動、文化活動等の交流の場や労働団体が行う会議、研修  
等の集会の場を提供することにより、労働者の福祉の向上を図ることを目的とし  
て、多目的ホール、会議室等の公の施設部分について、平成18年4月1日より  
神奈川県から指定管理者の指定を受け、管理運営を行っている。

イ 所在地 横浜市中区寿町1-4

ウ 開設 平成7年10月1日

エ 地面積 2,561.98 m<sup>2</sup>

オ 建 物 神奈川県行政財産

コクリート造 地下2階 地上 階

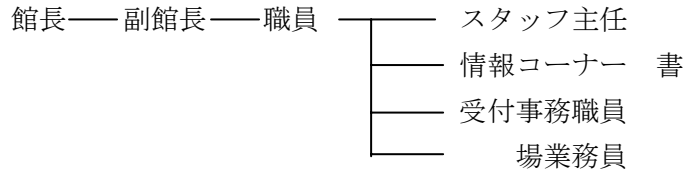
延 面積 13,866.7 m<sup>2</sup>

内訳 神奈川県立かながわ労働プラザ 3,508.08 m<sup>2</sup>

カ 施設の内容（公の施設部分）

階	第10会議室、特別会議室	196.83 m <sup>2</sup>
階	第1・第2会議室、トレーニングルーム	446.99 m <sup>2</sup>
4階	第3～第 会議室、和室、幼児室、講師控室	580.34 m <sup>2</sup>
3階	多目的ホール、控室、	501.44 m <sup>2</sup>
1階	施設受付事務室、 ヲラリー、労働情報コーナー	319.76 m <sup>2</sup>
地下1階	第1・第2 楽スタジオ、 場	983.02 m <sup>2</sup>
地下2階	機 式 場	479.70 m <sup>2</sup>
計		3,508.08 m <sup>2</sup>

キ 組織



ク 利用状況の推移

(H. 22. 4. 1～11. 30)

施 設	区 分	20年度	21年度	22年度
多目的ホール	利用件数	671 件	707 件 (483)	478 件
	利用人数	114,000 人	121,976 人 (83,226)	75,301 人
会議室等	利用件数	7,834 件	7,861 件 (5,334)	5,451 件
	利用人数	157,533 人	160,501 人 (108,208)	109,242 人
ヲラリー・ 楽 スタジオ・トレ ニングルーム	利用件数	7,585 件	9,123 件 (6,089)	7,254 件
	利用人数	31,697 人	32,833 人 (21,581)	24,356 人
労働情報コーナー	利用件数	17,591 件	16,604 件 (11,342)	12,089 件
	利用人数	17,591 人	16,604 人 (11,342)	12,089 人
合 計	利用件数	33,681 件	34,295 件 (23,248)	25,272 件
	利用人数	320,821 人	331,914 人 (224,357)	220,988 人
場	台数	17,137 台	17,818 台 (12,451)	11,738 台

\* 21年度 ( ) 内数 は、11月末までの実 数

ケ 平成22年度自主事業開催状況

(H. 22. 4. 1～11. 30)

講 座 名	開催日・回数	受講者数
-------	--------	------

スポーツ 入門教室	4 6～ 4 27・3回	18人(延 42人)
源氏物語講座	5 10～ 11 15・12回	95人(延 968人)
初 パソコン講座	6 4～ 7 9・6回	15人(延 73人)
パソコンスキルアップ講座	6 18～ 8 3・14回	8人(延 102人)
横浜いまむかし講座	6 9～ 11 16・6回	58人(延 140人)
フラ&チャモロ ンス講座	8 4～11 10・10回	12人(延 89人)
タ チ&チャモロ ンス講座	8 4～11 10・10回	17人(延 101人)
デューク式ウォーキング講座	9 10～11 26・6回	28人(延 146人)
第2回初 パソコン講座	9 17～10 22・6回	10人(延 55人)
はじめての囲碁入門教室	10 6～11 24・8回	18人(延 119人)
職場に活かすメンタルヘルス講座	11 15・1回	40人(延 40人)
合 計		319人(延 1875人)

コ 運営委員会の開催

- ・構成 労働団体・ 用者団体、地域団体、利用者代 、行政機関、指定管理者
- ・開催 平成 22 年 9 月

回数	開催日	主 な 議 題
第 1 回	22. 10. 28	(1)平成 21 年度利用実 について (2)平成 22 年度上期運営状況及び自主事業について (3)利用者からの意見等について

サ 図書資料選定等委員会の開催

- ・構成 学識経験者、労働関係団体、行政機関、指定管理者
- ・開催 平成 22 年 5 月・平成 22 年 10 月

回数	開催日	主 な 議 題
第 1 回	22. 5. 19	(1)平成 22 年度図書購入計画について(予算 2 2 万円) (2)平成 22 年度重点収集項目について (3)購入図書資料の選定について(図書 169 購入、 1 本) (4)寄 図書資料選定、受け入れについて (5)蔵書点検結果について (6) 籍について
第 2 回	22. 10. 5	(1)平成 22 年度第 1 回図書購入実 の報告 (2)購入図書資料の選定について(図書 154 購入、 16 本) (3)寄 図書資料選定、受け入れについて (4) 籍について

シ 近隣類似施設との連携(ネットワーク化)

- ・目的 近隣の類似施設とのホームページ相互リンクにより、利用者への貸会議室等の情報を 広く提供する。
- ・施設 横浜市技能文化会館、近代文学館、平 記念レストハウス、神奈川産業振興センター

ス 施設設備の充実

- ・備品等の購入 円（多目的ホール椅子の購入）  
2 円（更衣ロッカー、ポータブルアンプ  
スキャナーほか）
- ・修 等 4 2 円（多目的ホール椅子修理）  
3 1 円（予約システム端末修理ほか）

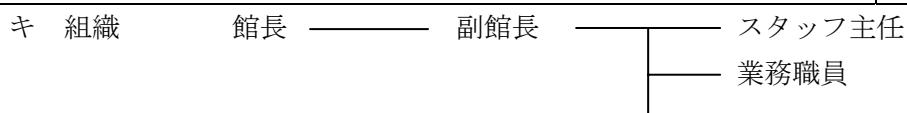
(2) 川崎市生活文化会館の管理運営事業

ア 設置目的 生活に根 した文化である技能について、市民の理解を深めるとともに、  
能職者相互の交流及び技能水 の向上を図り、もって技能を 重する社会の 成  
及び技能の振興に寄与することを目的とした施設で、平成 18 年 4 月 1 日より川  
崎市から指定管理者の指定を受け、管理運営を行っている。

- イ 所在地 川崎市高 区 口 1-6-10
- ウ 開設 平成 8 年 4 月 1 日
- エ 地面積 1,765.91 m<sup>2</sup>
- オ 建物 川崎市行政財産  
コクリート造 階建 2 階  
延 面積 3,752.18 m<sup>2</sup>  
内訳 市民局所管財産 3,367.63 m<sup>2</sup>  
民生局所管財産 318.61 m<sup>2</sup>  
経済局所管財産 65.94 m<sup>2</sup>

カ 施設の内容

2 階	エレベーター機 室	91.64 m <sup>2</sup>
1 階	大気観 所	91.64 m <sup>2</sup>
階	第 4 ・第 研修室、 ・理 容・調理実習室、 和室、談話室、キャリアサポートかわさき	718.76 m <sup>2</sup>
4 階	会議室、展示場、技連交流室、地名資料室、地名研 所	718.76 m <sup>2</sup>
3 階	経済局中小企業 口事務所、高年齢者職業相談室、 川崎市老人福祉施設事業協会、福祉パルたかつ、 口地域 支援センター、川崎市青少年育成連 、	718.76 m <sup>2</sup>
2 階	てくのホール、第 3 研修室、管理事務室、 喫 室「ほっと」	707.19 m <sup>2</sup>
1 階	第 1 ・第 2 研修室、 作 ・ 実習室、技連研修室	705.43 m <sup>2</sup>
計		3,752.18 m <sup>2</sup>



ク 利用状況の推移

(H. 22. 4. 1～11. 30)

施設	区分	20年度	21年度	22年度
てくのホール	利用件数	513件	526件 (344)	352件
	利用人数	63,876人	62,066人 (40,694)	40,962人
研修室・会議室等	利用件数	3,753件	3,819件 (2,528)	2,632件
	利用人数	82,100人	85,078人 (56,658)	60,018人
実習室	利用件数	876件	1,063件 (676)	777件
	利用人数	21,606人	26,004人 (16,233)	19,029人
合計	利用件数	5,142件	5,408件 (3,548)	3,761件
	利用人数	167,582人	173,148人 (113,585)	120,009人

\* 21年度 ( ) 内数 は、11月末までの実数

ケ 平成22年度自主事業開催状況

(H. 22. 4. 1～11. 30)

講座名	開催日	受講者数
ニコラさんの簡単フランス料理教室	4 10・24・5 8・22・6 12 各(土) 10 00～13 00	19人(延87人)
「源氏物語」の女性たち	5 6～10 21 第1・3(木) 10 00～12 00 全12回	40人 (延393人)
親子で楽しく食育料理教室	6 26(土) 10 00～13 00	27人(延27人)
フランス入門教室	6 2～8 25 各(水) 10 30～11 45 全10回	27人 (延223人)
ゆかた 付け教室	6 19、26、7 3 各(土) 18 00～20 00 全3回	13人(延38人)
男の料理教室	7 24・30(土) 10 00～13 00	27人(延27人)
夏休みものづくり体験 「銀の手作りストラップ教室」	8 7(土) 10 00～17 00 (休 1時間)	19人(延19人)
夏休みものづくり体験「 教室」	8 12(木)・24(火) 10:00～12:00 全3回	20人(延20人)
親子で楽しく食育料理教室	8 21(土) 10 00～13 00	27人(延27人)
の文化講座「 体験」	9 15・22・29・10 13 20(水) 13:00～17:00 全5回	11人(延51人)
無添加 材でつくる「パン き教室」	10 16(土)・30(土) 10:00～13:00 全2回	24人(延46人)

かわさきマイスターに学ぶ「本格ソーセージ作り体験教室」	11 3(水・ ) 10:00~13:00	22人 (延 22人)
リフレッシュ ガ入門教室	11 6(土)~11 27(土) 13:30~15:00 全4回	15人(延53人)
プロから学ぶきもの 付け教室	11 6(土)~11 27(土) 18:00~20:00 全4回	11人(延37人)
中華料理 さんが教える「中華料理教室」	11 7(日) 13:30~15:30	18人(延18人)
ニコラさんの簡単フランス料理教室	11 26(金) 前1回	20人(延20人)
合 計		340人 (延 1,108人)

コ 利用者懇談会の開催

- ・構成 技能職団体・市民団体、地域団体、利用者代 、指定管理者
- ・開催 平成 22 年 9 月

回数	開催日	主 な 議 題
第 1 回	22. 9. 28	(1) 平成 2 1 年度事業実施状況について (2) 平成 2 1 年度指定管理者制度活用総 評価について (3) 平成 2 2 年度事業計画(案)について (4) 「てくのだより」 3 発 について (5) てくのかわさき「技能フ スティバル」の開催報告について

サ 施設設備の充実

- ・備品等の購入 2 3 円 (テレビモニターほかの購入)
- ・修 等 1 2 円 (トイレ設備修理ほか)